

衛生動物に関する研究報告

環境衛生科 園 部 寿 昭

1) 大瀧村における衛生動物の調査

昭和42年4月4日, 18日, 5月2日, 9日, 16日, 23日の6回にわたって, 衛生昆虫類の採集を行った。トラップ法によらず, ネットを用い見つけ取り法で採集した。日中の調査と調査地までの交通不便から調査時間が十分とれず短時間のため, 対象昆虫類をハエ類にした。集落形成前であるので採集されたのは, *Sarcophagidae*・*Calliphoridae* の野外性の種類であった。集落形成がなされると, 動物相の大きな変動があらわれるが, 今後, トラップ法による採集で調査する必要がある。

2) コガタアカイエカの発生状態の調査

昭和42年5月30日, 6月6日, 20日, 27日の4回, *Culex tritaeniorhynchus* の larva の発生状況を秋田市下北手, 明田牛島, 川尻地区の田圃でヒシャクによる掬い取り法で調査した。

adult の発生状態については, dry-ice trap 法と light trap 法によつてカの採集を行い, 調査した。

秋田市新屋中村浜養豚場では dry-ice trap 法によつて, 昭和42年7月12日から9月13日までの期間, 週1回づつ夕刻7時30分頃に, trap に dry-ice を入れ, 翌朝4時に trap を取り外す方法でカの採集を行ったが, *Culex tritaeniorhynchus* を確認することができなかつた。採集されたのは, *Aedes* と *Culex pipiens* であつた。しかも, 毎回の採集個体数は非常に少なかつた。

また, 秋田市追分にある経済連天王養豚場では, light trap 法によつて, 昭和42年8月9日から10月3日までの期間, 週1回づつ夕刻7時30分頃に trap にライトをつけ, 翌朝4時にライトのスイッチを切る方法でカの採集を行った。採集個体数は非常に多かつたが light trap のため小形 *Coleoptera* が trap に相当数入りこんだ。そのために, カの標本に破損したものが多くでて, 分類に支障をきたしたが, 破損個体数を除いても4500個体から700個体のカを採集することができた。

8月23日には, *C. tritaeniorhynchus* が54個体, 29日には108個体, 9月19日には62個体, 26日には12個体を確認することができた。